

2024年12月期 第2四半期

決算説明資料

GMO AD PARTNERS

1. 6/25発表の再編について

2. 第2四半期決算概要

3. 参考資料

1. 6/25発表の再編について

2. 第2四半期決算概要

3. 参考資料

本再編の目的

- ✓ GMOインターネットグループ株式会社のインターネットインフラ事業の承継を2024/6/25に発表。2024/9/11開催の臨時株主総会において付議予定。

現状

事業環境の変化、競争の激化

- ・AI及びテクノロジーの進化により商流が変化
Cookieの利用制限による広告配信技術の大幅な変動
- ・業界の合従連衡も進み、大手企業の資本力を活かした事業展開など、
今後も競争の激化が見込まれる

目的

持続的成長の実現・企業価値の最大化

- ・GMOインターネットグループとしての連携を強化することによる
 - ①変化に対応したスピード感のある事業展開
 - ②AIや新たなテクノロジーを活用した商品開発による、新たな市場機会の創出
- ・ストック商材開発や経営資源の効率化による持続的成長の実現

※1：本再編による来期予想については2025年2月に開示予定です

※2：[6月25日公表の適時開示資料](#)も併せてご覧下さい。

現在

GMOインターネットグループ°（株）

インターネットインフラ事業

グループ会社の経営管理機能

GMOアドパートナーズ（株）

インターネット広告・メディア事業

2025年1月1日（効力発生日）

GMOインターネットグループ°（株）

グループ会社の経営管理機能

吸収分割

新株割当(16倍)

社名変更

GMOインターネット（株）

インターネットインフラ事業

インターネット広告・メディア事業

※GMOアドパートナーズの既存事業は継続

GMOインターネットグループの強みである
岩盤ストック収益を持つ事業



無くならない、無くてはならない かつ
継続課金の商材

インターネットインフラ事業について

ドメイン事業



契約ドメイン数

435万件

クラウド・ホスティング事業



契約件数

49万件

アクセス事業



ご契約回線

224万回線

※主要商材のみ抜粋して記載・データは2024年6月末時点のもの



統合対象事業
2023年12月期実績

売上高 615億円

営業利益 61億円

今期も
継続して成長

※上記金額は、一定の仮定に基づき算出した社内管理数値であり、監査証明を受けていない参考値です。

AIで未来を創るNo.1企業グループへ | ③AI産業への新サービス提供



最新チップH200採用のGPUクラウドサービスを
国内最速で年内提供予定

GMO

49

AIで未来を創るNo.1企業グループへ | ③AI産業への新サービス提供

概要

- 生成AI向けGPUクラウドサービス提供に向け、**71億円**の投資を計画（当初概算100億円）

経産省

- 補助対象58億円^{*}の1/3にあたる**19.3億円**の助成、交付は来期を予定

設備投資

- NVIDIA H200 GPU約800基の調達など

サービス

- 最新チップH200、NVIDIA推奨環境を採用した**国内初**のサービス
- 24年12月以降、**国内最速**で提供開始予定

GMO

※0.75EF相当、EFはEFLOPS（エクサフロップス）の略で、コンピューターの演算性能を表す単位の一つ

50

GPUクラウドサービス 年内提供予定

開発準備も 順調に進捗



NVIDIA H200 GPU 調達完了

AIに最適化されたネットワーク技術※を採用した

生成AI向けのGPUクラウドサービスを国内最速提供（12月予定）へ

※「NVIDIA Spectrum™-X」：NVIDIA 提供のAIワークロード専用設計された世界初のイーサネットファブリック

GMO
インターネットグループ
インフラ事業

GMO
アドパートナーズ

No.1
ストック商材群

マーケティング
ノウハウ

- ① Web集客を
より強く
- ② ストック商材の
拡充

25年1月1日以降の体制について

上場予定市場

東京証券取引所 プライム市場

発行済株式総数

274,698,528株（想定時価総額：1,112億円）※

役員体制

取締役会長	熊谷 正寿
代表取締役 社長執行役員	伊藤 正（新任）
代表取締役 副社長執行役員	橋口 誠
取締役	安田 昌史
取締役 監査等委員	岩濱 みゆき
取締役 監査等委員	杉野 知包
取締役 監査等委員	鮎川 拓弥

※2024年8月7日終値 405円をベースに計算

Q1：流通株式比率の適合に向けた計画はどのようになっているのか

- ・効力発生日時点の当社の流通株式比率は1.44%となる見込みです。
- ・プライム市場の上場維持基準における流通株式比率は35%です。
- ・当社は、上場維持基準適合のための改善期間である2026年12月末までにこれを充足する必要があります。
- ・GMO-IG（株）と協議の上、同社が保有する株式の市場売却や、当社での買取および消却などの改善策の実施を検討します。

Q2 : 来期以降の事業計画は

- ・25年2月に通期決算発表と併せ業績予想として開示する予定です。

Q3 : GMO-AP（株）の既存事業はどうなるのか？

- ・既存事業については、変更なくこれまで通り継続致します。

Q4：減資の理由は

- ・25年1月以降の発行済株式数の大幅な増加に備え、配当原資を確保することを目的としています。

Q5：複数代表取締役になるが役割の分担は

- ・伊藤・橋口の既存の管掌事業領域に応じ、それぞれ分担することを想定しております。

1. 6/25発表の再編について

2. 第2四半期決算概要

3. 参考資料

取扱高 1-6月累計

154億円

(前年比 ▲21.1%)

営業利益 1-6月累計

▲**1.2**億円

(前年差異 ▲1.99億円)

- ✓ 再編のアドバイザー費用**2.1億円**を計上。
- ✓ 取扱高は前年比減も、営業利益は粗利率向上とコスト抑制により再編費用を除くと計画通り。
- ✓ 下期でも再編関係費用が発生見通し。業績予想を修正。

第2四半期決算概要（再編費用を除く）

コスト抑制により営業利益回復。

売上高は減少も、組織の効率化や各種費用の抑制などにより販管費もマイナスとなり、

再編費用を除いた営業利益ベースでは第2四半期累計で前年78百万に対し93百万と、前年対比でプラスの着地。

(百万円)	第2四半期（4-6月）			第2四半期累計（1-6月）		
	2023年 4-6月	2024年 4-6月	前年 同期比	2023年 1-6月	2024年 1-6月	前年 同期比
取扱高	9,133	7,183	78.6%	19,533	15,407	78.9%
売上高	3,877	3,083	79.5%	8,145	6,537	80.3%
売上原価	2,281	1,683	73.8%	4,703	3,612	76.8%
売上総利益	1,596	1,401	87.7%	3,442	2,925	85.0%
販管費	1,624	1,379	84.9%	3,363	2,832	84.2%
営業利益	▲28	22	-	78	93	118.3%
経常利益	5	38	755.6%	208	111	53.2%

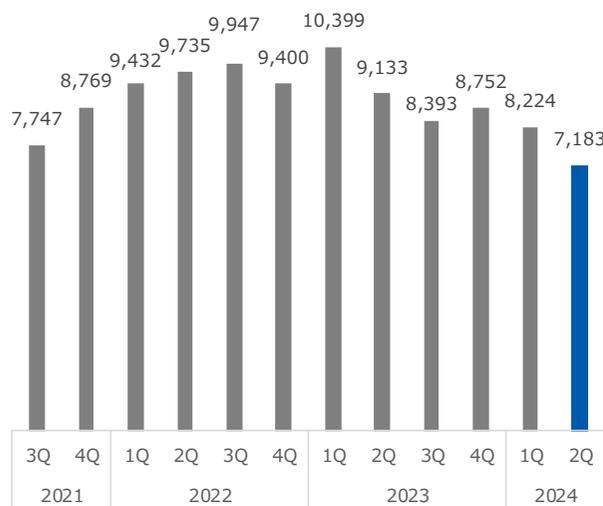
2024年第2四半期業績（推移・再編費用を除く）

取扱高は減少傾向も、営業利益は前年より継続して回復。

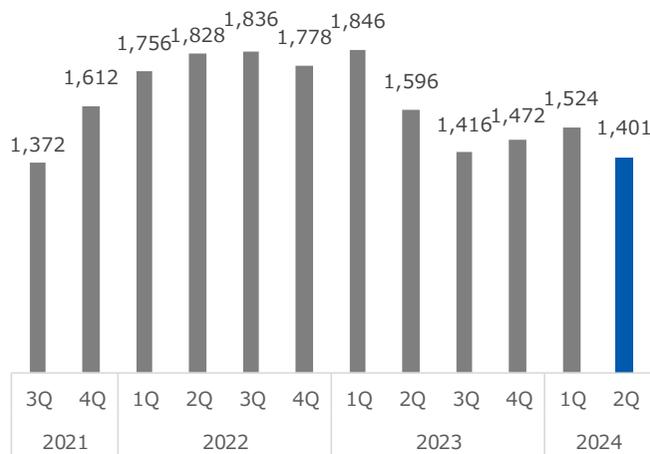
取扱高減少も、自社商材の成長による粗利率増加とコスト抑制により営業利益はYoY回復。

本年1月より実施していた組織再編・体制の見直しによる効果が出ており、下期でさらなる回復を図る。

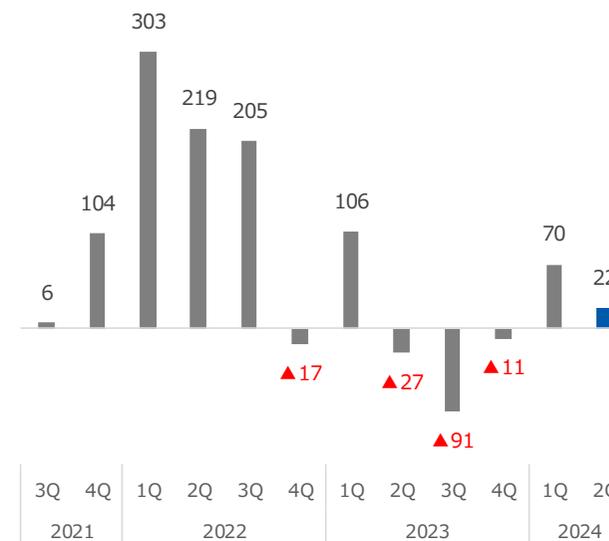
取扱高



売上総利益



営業利益（再編費用除外）



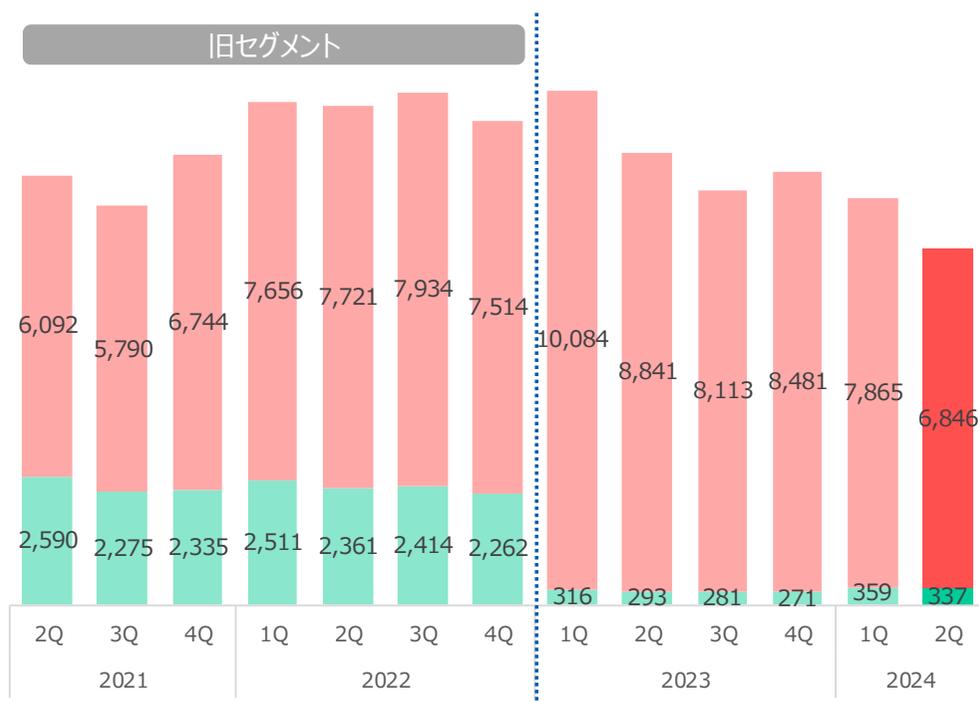
セグメントの状況

インターネット広告事業は自社商材伸長により回復

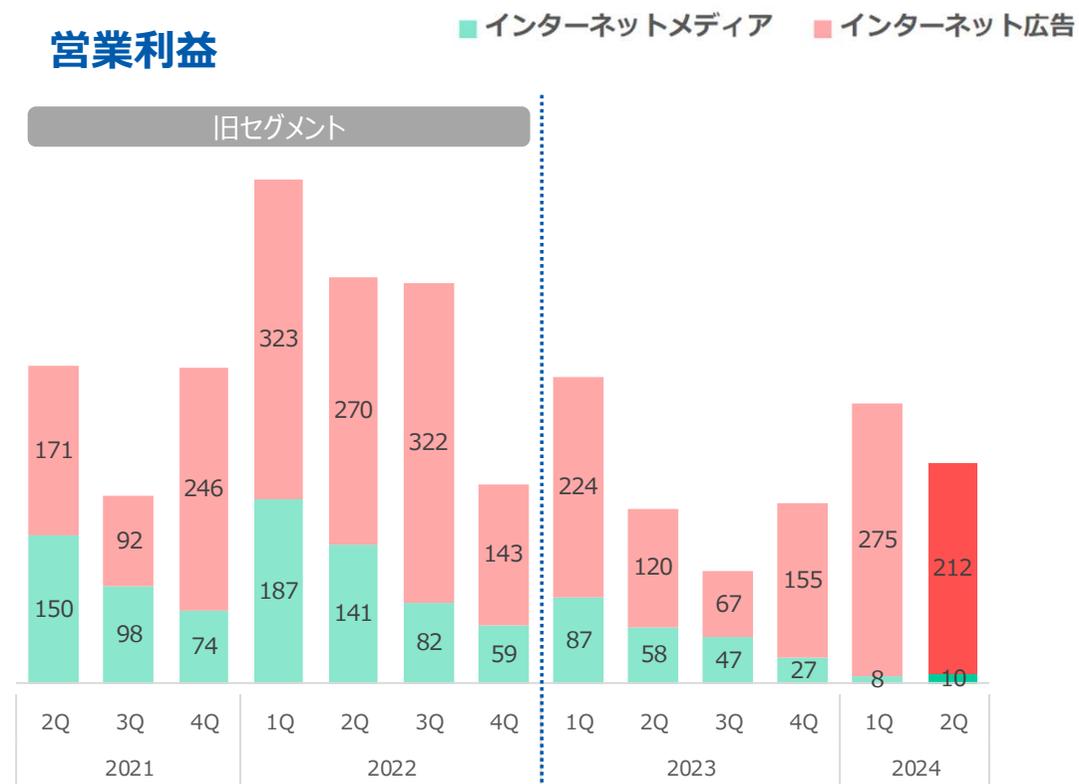
インターネット広告事業についてはGMO SSPの利益が増加し、取扱高は減少しているものの利益面では大きく回復。

インターネットメディア事業はmichill byGMOのアクセス数減少の影響が大きく、YoYマイナス。

取扱高



営業利益



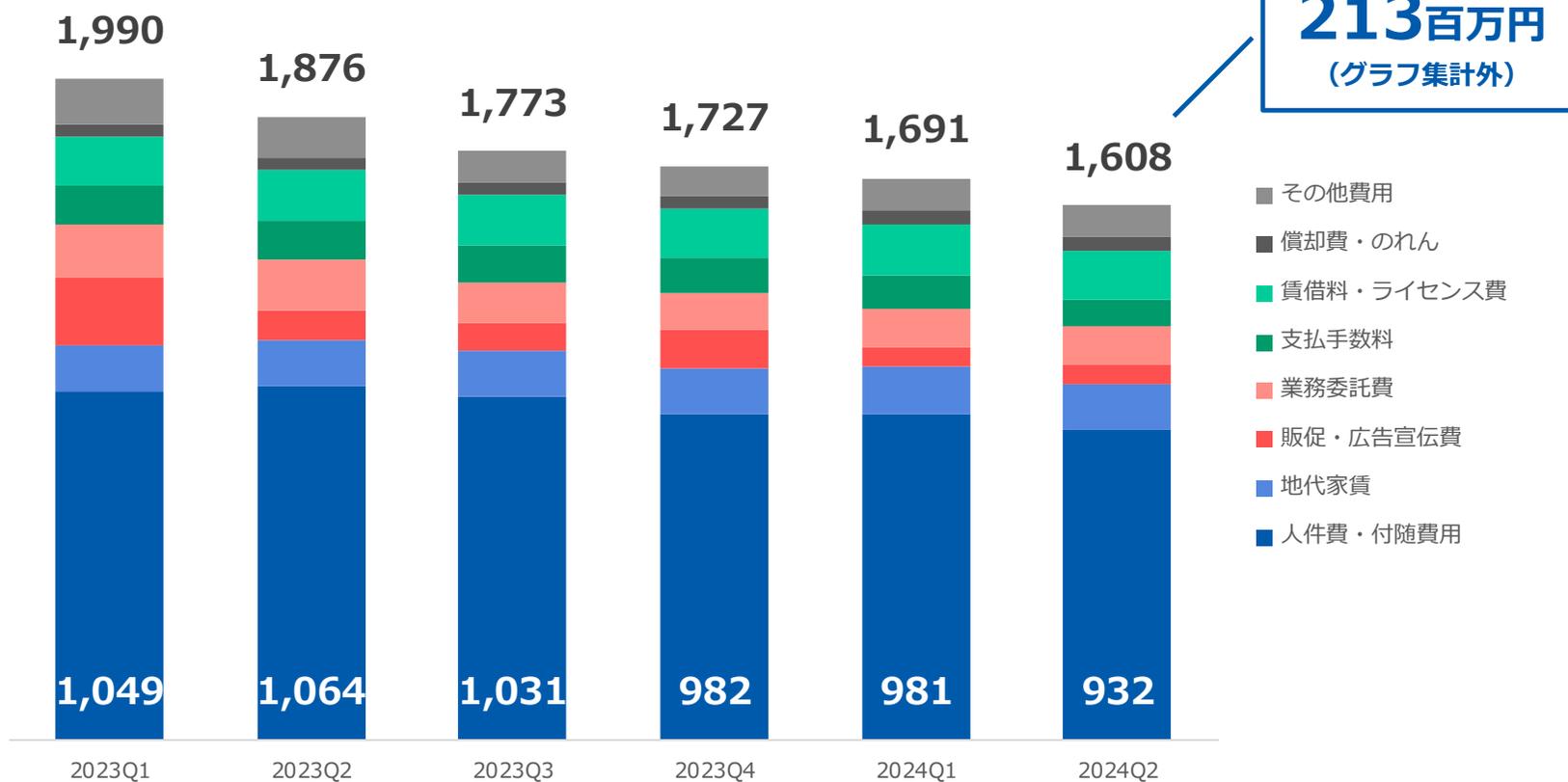
※本ページではセグメントに含まれない「その他」の数値等を除いた数値を使用しており、当社発表の決算短信・有価証券報告書の数値と一致しないことがあります。

2024年第2四半期業績（費用の内訳・推移）

コストの抑制・効率化により収支のバランスを適正化

採用活動の圧縮やAI活用による業務効率化により人的工数の増加を抑制。

再編費用2.1億円を除いた場合の全社費用は継続して減少。



※本集計における費用については、売上原価に含まれるものと販売費および一般管理費に含まれるものを合算して集計しております。

第2四半期決算概要

コスト抑制により営業利益回復も、再編コスト2.1億の影響大。

再編費用を除いた営業利益ではYoYでプラスの着地も、再編コストの影響により実績数字としては大きくマイナス。

下期にも若干の再編コストを計上見通し。

(百万円)	第2四半期 (4-6月)			第2四半期累計 (1-6月)		
	2023年 4-6月	2024年 4-6月	前年 同期比	2023年 1-6月	2024年 1-6月	前年 同期比
取扱高	9,133	7,183	78.6%	19,533	15,407	78.9%
売上高	3,877	3,083	79.5%	8,145	6,537	80.3%
売上原価	2,281	1,683	73.8%	4,703	3,612	76.8%
売上総利益	1,596	1,401	87.7%	3,442	2,925	85.0%
販管費	1,624	1,591	98.0%	3,363	3,045	90.5%
営業利益	▲28	▲191	-	78	▲120	-
経常利益	5	▲175	-	208	▲102	-

2024年 業績予想の修正について

(百万円)	期初予想	修正予想	期初予想との差異
売上高	15,000	15,000	0
営業利益	400	100	▲300
経常利益	400	100	▲300
当期純利益	220	55	▲165

- ・再編関係費用の発生により、営業利益以下の予想を修正
- ・Q2計上済みの2.1億に加え、臨時株主総会費用やプライム上場に向けた体制強化費用など発生見通し

1. 6/25発表の再編について

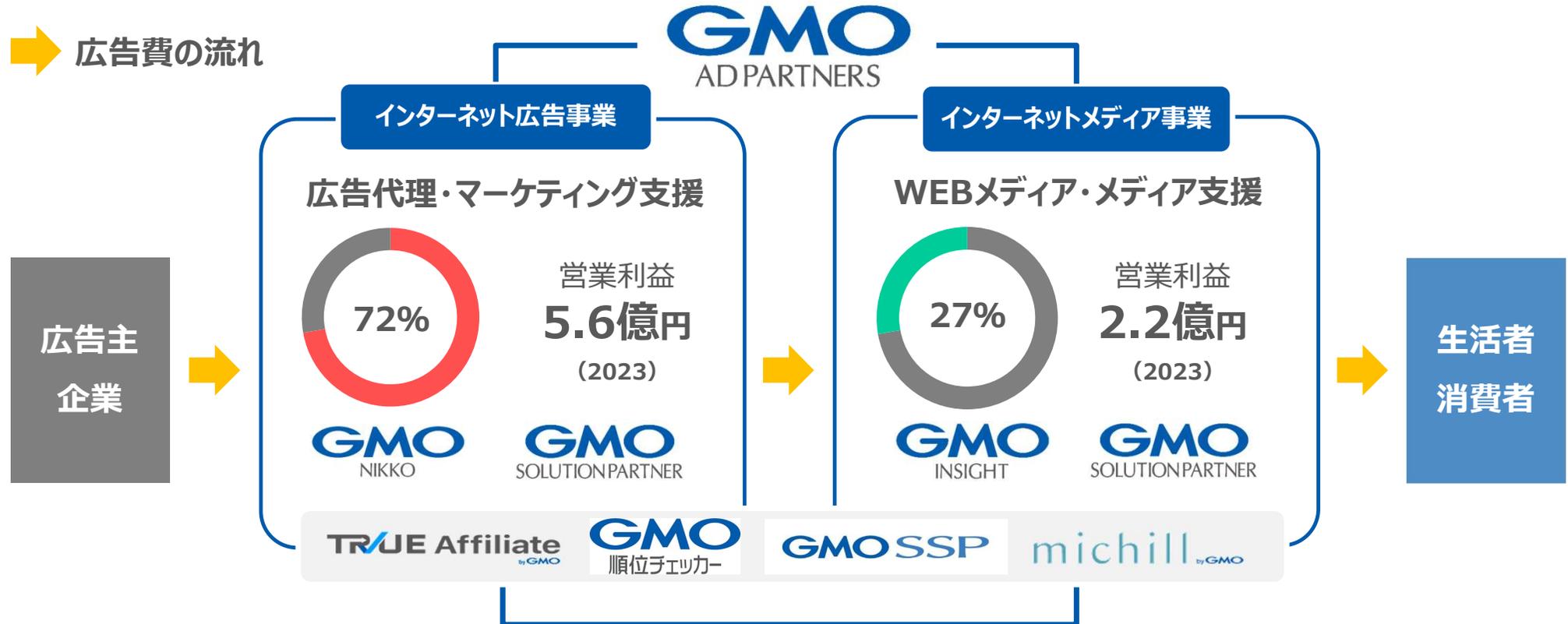
2. 第2四半期決算概要

3. 参考資料

GMOアドパートナーズの事業領域と主なサービス

総合インターネット広告・メディア事業

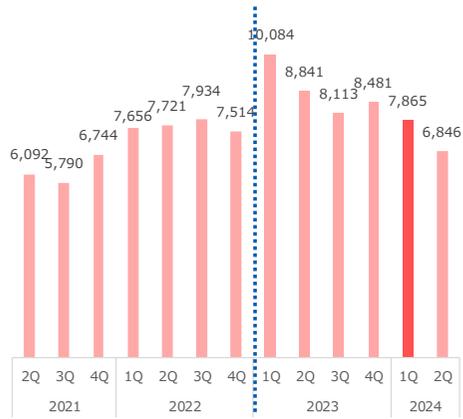
インターネット広告事業と、インターネットメディア事業の2つの事業で、広告主である企業と生活者をつなぐすべてのプロセスを横断して事業を展開。顧客ニーズと市場・生活者ニーズの双方をつかみ、自社プロダクトの開発・自社サービスの強化につなげます。



2024年第2四半期業績 事業別

インターネット広告事業 (2023年以前はエージェンシー事業)

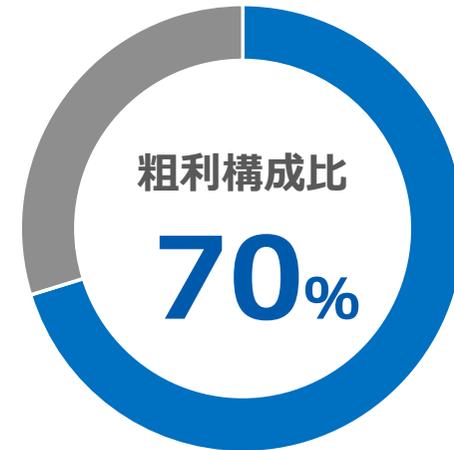
取扱高推移



営業利益推移



自社企画サービス比率

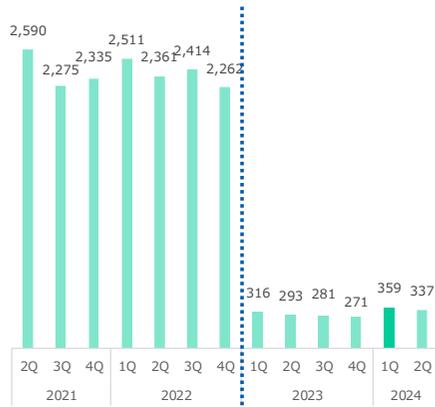


前年同期比+2.6%

高い水準を継続

インターネットメディア事業 (2023年以前はメディア・アドテク事業)

取扱高推移



営業利益推移



本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年8月8日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

GMO AD PARTNERS